

## 連携機関ご紹介コーナー

## 児玉眼科医院

院長 児玉 良雄 Yoshio Kodama

 昭和43年／日本大学医学部卒業  
 昭和59年／開業

interview



## 趣味

- 旅行、美味しい料理を食べること。
- 亀のコレクション。

## モットー (大切にしている事)

- 1日1日を大切に生きる。
- 座右の銘「誠意」・「努力」

## 健康法

- よく食べて、よく眠る。
- 毎日のウォーキング(このごろは週に3回くらい)

## リフレッシュ法

- 朝日を浴び、夜12時までには就寝する。
- よく働き(学び)、よく遊ぶ。

## 自院のやりがいは何ですか

- ▶ 与えられた自分の仕事をしっかり行う。
- ▶ 地域医療に携わっていること。
- ▶ 生涯現役で終わりたい。



## 毎日の診療で大切にされていることは何ですか

- ▶ 診療(専門科目の眼科)を精一杯、努力する。
- ▶ 所見を見逃さないようにする。
- ▶ 患者さんに寄り添った地域医療が出来るようこれまで続けている。

## JA吉田総合病院に望むこと

病診連携は医療の両輪です。近年益々、医療を取り巻く環境が厳しくなる中で、全国の地域医療の崩壊が起きています。広島県においてもこの状況は変わりません。これまでに培ってきた病診連携をこれからも大切に、さらに地域医療の充実、発展に寄与して頂くよう切に願っております。



## 児玉眼科医院

住 所 安芸高田市吉田町吉田770番地

開 院 昭和59年

標榜科 眼科

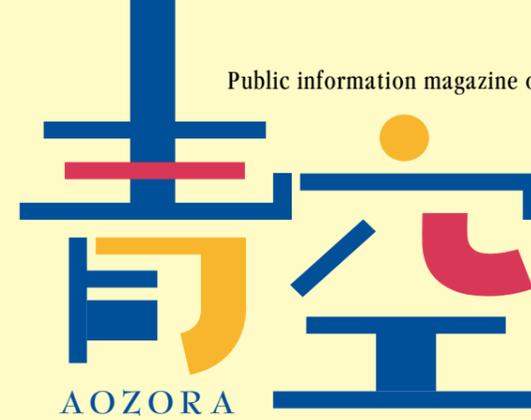
## INFORMATION お知らせ

## HMネット 診療開示病院になりました。

JA吉田総合病院ではあなたの診療情報を、かかりつけ医院・薬局と共有できる「HMカード(地域共通IDカード)」を無料で発行しています。「HMカード」は、広島県と広島県医師会が運営する広島医療情報ネットワーク(HMネット)によって構築された厳密なプライバシー保護の下にあなたの診療情報の連結と共有を実現します。

HMカードは複数の医療機関にあなたの診療情報を結びつけるため、地域共通ID番号を格納したカードです。行かれた病医院や薬局で名寄せ(カードへのカルテ番号の追加登録)をすることで、あなたの診療情報の連結が進みます。

南館1階地域医療連携室で作ることが出来ますので、詳しくはお尋ねください。


 やさしい心で  
 良質な医療を

秋号

vol.55

JA吉田総合病院

 発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院  
 〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666  
 Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007  
 2017年(平成29年)9月発行  
 http://yoshida-gene-hospi.jp/

Facebookを開きました



ご挨拶

## 新任のごあいさつ

事務長 大下 誠人



本年4月より、JA吉田総合病院事務長を務めております大下です。

大変重責ではありますが、実直に役割を果たしてまいりたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、当院を運営する広島県厚生農業協同組合連合会は、県下に総合病院三つと看護専門学校を一つ運営しております。その歴史は古く、発祥の地がこのJA吉田総合病院であることを皆様ご存知でしょうか?

昭和初期、高田郡(現安芸高田

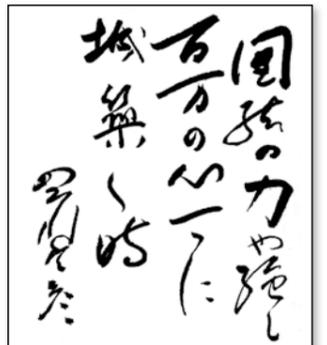
市)の医療状況は乏しく、農業協同組合の前身である当時の産業組合の組合長や組合員の皆様、協同組合運動の先駆者である賀川豊彦氏を招聘し、地域内を隈なく回り、粘り強く医療施設の必要性を力説されるなど、壮大なドラマが繰り広げられたそうです。

このように、組合員や関係者の皆様が言葉では言い表せないほどの努力を積み重ねた結果、広島県初の『農協病院』を開設するに至りました。

さらに、開設する際には、自治体から病院用地の寄付を受けたり、約4千坪の用地造成工事は地域住民の勤労奉仕によって行われたりと、まさに地域に支えられ育まれた病院であります。

賀川豊彦氏が当地域にちなんで詠まれた句をご紹介します。

“団結の力や強し  
 百万の心一つに 城築く時”



賀川豊彦氏直筆の句

おかげさまでこのJA吉田総合病院は、来年、開院75周年の節目の年を迎えます。

地域に支えられている病院であるということを心に刻み、これからも、80年、100年と永続的に存続し、地域の皆様の拠り所の“城”となれるように、気を引き締めて病院運営に当たりたいと思っております。



## 基本理念

1. 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
2. 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
3. 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

## 基本方針

1. やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
2. 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
3. 生涯学習の精神を葆ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
4. 努力と強調で健全経営に努め、明るい職場をつくります。
5. 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規を遵守します。

## 平成29年度 安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業

# 第1回 安芸高田市在宅医療・介護連携推進会議を開催しました

【日時】平成29年7月13日(木) 17:30～ 【会場】JA吉田総合病院 南館4階大会議室



JA吉田総合病院では、平成26年度は広島県より、平成27年度からは安芸高田市より委託を受け、安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業(以後、事業)を行っております。今年度、第1回目の会議が開催されました。

医療・介護・福祉・行政・学識経験者16名より構成し、誰もが住み慣れた安芸高田市で安心して暮らせる地域づくりを目的とした『地域包括ケアシステムの構築』のために、今年度の事業計画を検討し何を重点的に行っていくかを決定しました。「在宅医療・介護連携推進プロジェクト会議」を開き、継続課題である「在宅・施設での看取りの推進」と「医療・介護の情報共有ツールの検討」の部会に加え、今年度より「地域課題の抽出・検討・対策」を目的とした部会を新たに立ち上げ活動する事を決定しました。



医療・介護・福祉従

事者の日頃の悩みを事例検討していく中で、地域で困っていることに対して多職種でどう関わら合うことが出来るか、問題解決の方向性を打ち出すことが出来るかを今後の会議で検討します。



また、事業の目玉として『第3回市民公開講座』を平成29年10月28日(土)13:00～16:00にて安芸高田市民ホール クリスタルアージュ 大ホールにおいて開催いたします。

特別講演として、医療法人社団 裕和会・理事長 長尾クリニック院長 長尾和宏氏による『がん、認知症、死ぬまでハッピー!』と題してご講演いただく予定にしております。今後、チラシ等でご案内いたしますので、ご参加の程よろしくお願いたします。

## 平成29年度 安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業

# 第1回 多職種連携研修会

テーマ  
「認知症でなくても、あっても住みたい場所で自分らしく生きるために」

【日時】平成29年8月16日(水) 18:00～19:30 【参加者】63名  
【会場】JA吉田総合病院 南館4階 大会議室 【対 象】安芸高田市内の医療・介護・福祉関連従事者

テーマを「認知症でなくても、あっても住みたい場所で自分らしく生きるために」として、「ワールドカフェ方式」にて第1回多職種連携研修会を開催しました。

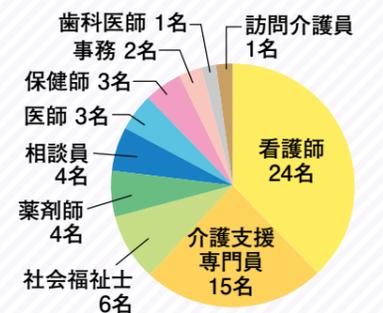
10種の専門職の方々にご参加いただき、全グループ6～7人に分かれ、「認知症と地域課題」「それぞれの地域や機関での取り組みや事例」「自分らしく生きることを支えるために、何が出来るだろうか?」のテーマで、メンバーを入れ替えながら意見を出し合いました。色々な職種の方の意見を聞く中で、自分の中での気づきがたくさんある研修会でした。

研修会後の感想では、「たくさんの人と話ができて、笑い合えた」「心に余裕をもって介護する」「全職種の方が様々な課題に悩んでいること、立場は異なるが悩みの根本は似ていると感じた」等、互いの悩みを理解して、顔の見える繋がりに貢献することができました。

今後も連携の絆を深め、スムーズに事が運ぶように、誰もがより住みやすい安芸高田市を目指して、在宅医療・介護連携推進事業を進めて参りますので、皆様のご協力よろしくお願いたします。



— 参加者構成 —



※ワールドカフェ方式とは…「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をし、自由にネットワークを築くことのできる「カフェ」のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

# 職場体験学習を実施しました

安芸高田市立吉田中学校2年生の生徒さん6名が参加されました。



平成29年7月10日(月)～14日(金)の5日間で職場体験に6名(男子2名・女子4名)の生徒さんが参加されました。

職場体験前には、病院担当者への電話連絡・打合せを丁寧に行われました。初日に放射線科・薬剤科等の各部署を緊張した面持ちで回り、業務についての説明を受け熱心にメモを取り、病院には様々な専門職が



協力して診療に携わっていることを学びました。2日目以降は、老人保健施設「のぞみ」と療養病棟での業務の見学、患者さん・入所者さんとのふれあい、環境整備、レクレーション等を体験しました。

今回の職場体験を通して、「仕事は大変な時もあるけど、それだけではなく楽しい事もたくさんある」「利用者さんが安心・安全・気持ちよく生活するために工夫している」等、より具体的に医療・介護施設を理解し、将来の自分の仕事について、現実的に考える時間になりました。